

東海村地域計画(案)に対する御意見と回答

No.	御意見	回答
1	栽培管理から販売までを実践的に学習し儲かる農業をしようというプロジェクトのような活動や経験を村の農業に興味のある若者や興味はあるけど知識がない層、家庭菜園を始めたい主婦層、ライト層など様々な人々に体験してもらい、村全体で農業に対する知識や明るいイメージ作りへつなげられたら良いなと思っています。 上記のような体験を可能にする団体の設立、活動内容案 ・村が土地を提供し、そこで作物を育てる ・農業学校出身者や地域の農業者が未経験者に教えながら一緒に活動する ・収穫した野菜等を学校給食で提供したり、ふるさと納税の返礼品にしたり、にじのなか等で販売するなどし、活用する ・若い農業者のコミュニティを構築し、さらに地元農業者の元のコミュニティとつなげる役割を果たす ・売上が出た場合には経費とし、機械を借りたりする費用に充て、さらに講師を呼んだり、あるいは地域のお祭り等に寄付し利益が出ないようにする ・定期的に成果報告を行い、村の文化祭などで発表の場を設ける ・催しに参加、お祭りなどに寄付、SNSで活動を公表していくことで村の知名度や好感度に寄与する 地域に居る若い農業者どうして学び、やり取りできる気軽なコミュニティとして、すこし農業に興味があるライト層を取り込むきっかけとして機能する農業組合のような団体をイメージしています。東海村の青少年のような動き方ができたらいいなと思います。また、このような人々の目線から出る農業の労働環境などについての意見も貴重なものになるのではないかと思います。ご一考下さると幸いです。	当該計画は、地域座談会で話し合った内容を「地域農業の将来のあり方【①農用地の集積・集約化の方針 ②農地中間管理機構の活用方針 ③基盤整備事業の取組方針 ④多様な経営体の確保・育成の取組方針 ⑤農作業委託の活用方針】」としてまとめた「参考様式第5-2号」、農地ひと筆ごとの10年先の耕作者を計画する「目標地図【4エリア】」から構成しており、地域の農地をどのように利活用していくかという点に主眼を置いておりますので、今回ご提案いただいた村全体として農業分野に係る関係人口を増やしていく取組等については、今後の事業立案の参考とさせていただきたいと考えております。 なお、ご提案いただいた内容に関連した事業としましては、「東海村地産地消推進事業」において通年で栽培セミナーや収穫体験、JA常陸学校給食部会による学校給食への村産農産物の提供等、既存の事業で実施していることもございます。また、若い農業者のコミュニティ形成等の観点から、今回御提案いただきました内容について、今後講師等を御提案者様にお願いさせていただく場合もございますので、引き続き、村の農業振興に御協力いただきたいと存じます。